



## 1. With コロナ、After コロナに向けて

新型コロナウイルス感染症が全世界に大きな影響を与えている。医療従事者や働いてくれている方々に心から感謝をし、広げないように行動をしていきたい。コロナ禍でアメリカの有名企業が倒産し始めている。世界中の航空会社の多くが経営難から国営になるのではないかとされている。日本も自粛の影響により中小企業の倒産が起きている。我々にとっても受験がどうなるのか、オープンキャンパスがどうなるのか、9月入学になるのかなど見通しが立たないことだらけである。世界ではコロナが完全に落ち着くのは1年後とも2年後ともいわれ、その過程ではコロナをうまく対処しながら暮らさなければならない時期があり、そのことを『with コロナ』と呼ぶ学者もいる。また、コロナが落ち着いた後、世界の状況が大きく変わるだろうという意味から『After コロナ』の世界はどうなるのか、一変するのではないかと話している学者たちがいる。我々はこのような状況の中で今何ができるかを考えていかなければならない。

いま世界では、仕事のリモートワーク（在宅勤務）化が進み、学校も配信授業が開始するなど環境が大きく変化をしている。その中でこれまで普通にしていたことが実は生産性を下げていたり、もっといい方法があったのにとらなかつたりしたことに気づき始め、一部の人々が動き始めている。つまり、コロナは社会を大きく変化させる面をも持っているのだ。世界の歴史から見れば14世紀ペストはヨーロッパの人口の3～4割に死をもたらす猛威をふるった。しかし、ペストが落ち着くと農村では働き手が減り、それまでの領主と農民との間にあった関係（年貢を納める）から、賃金をもらって作業することが一般的となった。つまりペストは中世社会を崩壊させるきっかけにもなったのだ。ペストの例までではないかもしれないが、『With コロナ、After コロナ』の社会は大きく変化するのではないかと予想されている。君たちもこの変化に無関係ではない。むしろ変えていくプレーヤーになっていくはずだ。だからこそ今後の社会や今後必要とされる力を考えていかなければいけない。そのためにも今学校でやる学習はもちろんのこと、課題を自ら見つけ探究をする姿勢が求められることは間違いない。

個人の話もしよう。アイザック・ニュートン（1642～1727）は万有引力の法則、微分積分、光学のプリズムでの分光の実験という三大業績で有名だ。この三大業績、実はペストから逃れた18か月間の休校中に大体の構想ができていたといわれている。このことから我々は今この状況に悲観したり、なんとなく過ごしたりするのではなく、今こそやるべきこと、自分のしたいこと、弱点、強みを見つめ直しそれを改善や発展させる期間にしておくべきではないか。家にいてなかなか集中ができなかつたり、陰鬱な気持ちになったりしているかもしれないが進むべき道を自ら見つけ一步一步進めるよう努力していこう。学校で会えるときに大きな成長した君たちに会えることを期待する。もちろん我々も進路に関する情報を集め今後も時計台等で状況を伝えていこうと思う。

進路指導部主任 末吉智典

## 2. 今年度の進路指導部

今年度の進路指導部は以下の8人になります。進路相談等は以下の先生に話を聞いてみてください。

末吉智典（公民）	田中 茂樹（数学）
小笠原 経述（数学）	沢井 昌英（英語）
佐藤 京子（英語）	柴田 匡俊（地理歴史）
田村 幸司（国語）	形部 光昭

## 3. 2020 大学入試結果

結果から

ここでは大きく3つのポイントを挙げておきたい。1つ目が国公立合格について、2つ目が私立合格状況について、3つ目が大学入試全般についてである。

1つ目、国公立大学の合格者数は54名、昨年度58名と大きな変化はない。（センターの分析でも述べるが）センター試験に苦戦した生徒が少なくなかったが、国公立大学入学を目指し後期日程までしっかりと気持ちを切らさずに戦えたことで合格を勝ち取れた生徒が多かった。難関国公立の合格者は少ないが、センター試験の影響が大きかった。

2つ目、私立大学の合格者数は早慶上智、MARCH+理科大で大きく数字を減らしている。これは一昨年度に比べ1人あたりの受験校数が少なかったこと、私立対策が万全でなかったことが原因として挙げられる。一昨年度の受験生は1人あたり10校受験する生徒がざらにいたが、今年度はセンター試験での私立大合格の難しさ、第1志望合格のためのスケジュール設定のため受験校を絞る、経済的理由などを理由として受験校数がそもそも少なかった。そのため合格者数が少なかったということを考慮に入れなければならない。ただし、そうだとすると早慶上智が半分になってしまったのはなぜか。それは受験に向かう土台作りが時間がかかりすぎてしまったことが大きな要因だ。例年であれば夏休みが終わるまでに土台作り、基礎基本がしっかり身につく2学期以降に問題演習へとステップアップする。しかし、昨年度の卒業生は土台がなかなか完成されなかった。その影響は赤本の貸し出しにも表れていた。例年であれば10月ぐらいから貸し出しが増えていくが昨年度は年末以降に貸し出しが多く、直前に「〇〇大学の赤本がない」と慌てていたという場面がよく見られた。3年生は夏まで土台作り専念する。それがなければ各大学の過去問を解いても効果はうすい。とにかく基礎基本をしっかり定着させることだ。

3つ目、大学入試全般についてである。今年度より大学入学共通テストの導入が予定されている。昨年度は、浪人生が2浪になると共通テストという未知のものになるという不安から例年にないくらいの頑張りがあったという。そのため、浪人生の合格実績が例年よりも良かった

という予備校関係者の声も聞こえた。現役生でも浪人を避ける傾向が強く、例年であれば浪人して一橋、東大などを目指す層が早稲田、慶応に入学をするケースが目立ったという（逆に言うと今年は上位の浪人生が少ないとも読める）。それ以外にも、合格者数の絞り込みが数年前から行われたこと、入試体制の再構築などさまざまな面で変化を迎えている。こうした状況の中、一般入試ではなく指定校推薦に頼る生徒もいたようで、大学によっては指定校・公募・AO 推薦で多くの生徒をとったので一般では合格者数を絞らざるを得ない大学もあったという。以上のように大学入試は今まさに変革の時を迎え傾向などを読み解くことが難しい水物状態が続いている。しかし、変革の中でもしっかりと合格を勝ち取った生徒は『合格体験記』にもあるように計画を立て、実行、修正を繰り返す、基礎力が重要であること、モチベーションの保ち方など受験勉強をするにあたっての工夫をしっかりとしている。この点を念頭におき恐れずに学習に向かってほしい。

2020年度 国公立大学					私立大学																												
番	国公立大学	現役	既卒	合計	番	私立大学	現役	既卒	合計																								
1	岩手大	1		1	1	早稲田大	17	1	18																								
2	福島大	1	1	2	2	慶応大	4	6	10																								
3	茨城大	2		2	3	上智大	4		4																								
4	筑波大	4		4	4	東京理大	15	6	21																								
5	埼玉大	8		8	5	明治大	41	4	45																								
6	千葉大	8	2	10	6	青山学院大	10	1	11																								
7	東京海洋大	2		2	7	立教大	33		33																								
8	電気通信大	1		1	8	中央大	26	2	28																								
9	東京学芸大	2		2	9	法政大	44	7	51																								
10	東京農工大	2	2	4	10	学習院大	7	3	10																								
11	横浜国立大	2	1	3	11	日本大	72	18	90																								
12	山梨大	1		1	12	東洋大	73	5	78																								
13	信州大	2		2	13	駒澤大	9	2	11																								
14	奈良教育大	1		1	14	専修大	21	3	24																								
15	和歌山大	1		1	15	立命館大		1	1																								
16	高知大		1	1	16	麻布大	1	1	2																								
17	九州大	1		1	17	亜細亜大	4		4																								
18	琉球大	1		1	18	跡見学園女子大	8		8																								
19	釧路公立大		1	1	19	大妻女子大	4		4																								
20	前橋工科大	1		1	20	学習院女子大	2		2																								
21	高崎経大	4		4	21	神田外語大	5		5																								
22	埼玉県立大	4		4	22	北里大	7	2	9																								
23	東京都立大	1		1	23	京都産業大		1	1																								
24	横浜国立大	1		1	24	共立女子大	7	2	9																								
25	新潟県立大	1	1	2	25	杏林大	7		7																								
26	都留文科大	1		1	26	工学院大	6		6																								
27	水産大	1		1	27	国学院大	9	1	10																								
国公立大学合計					28	国際基督教大		1	1																								
					29	国士館大	9		9																								
					30	駒沢女子大	1		1																								
					31	産業能率大	4		4																								
					32	実践女子大	3		3																								
					33	芝浦工大	38	4	42																								
					34	千葉商大	3		3																								
					35	淑徳大	1		1																								
					36	順天堂大	13	1	14																								
					37	城西大	2		2																								
					38	女子栄養大	5		5																								
					39	昭和女子大	12		12																								
					40	昭和大	4		4																								
					41	昭和薬大	2		2																								
					42	白百合女子大	1		1																								
					43	成蹊大	8		8																								
					44	成城大	2	1	3																								
					45	清泉女子大		1	1																								
					46	聖徳大	2		2																								
					47	聖路加国際大	1		1																								
					48	創価大	3		3																								
					49	大正大	16		16																								
					50	大東文化大	8	2	10																								
					51	高千穂大	1		1																								
					52	拓殖大	2	1	3																								
					53	玉川大	4		4																								
					54	多摩美大	3		3																								
					55	千葉科学大	1		1																								
					56	千葉工大	23	2	25																								
					57	中京大	2		2																								
					58	津田塾大	1		1																								
					59	帝京科学大		1	1																								
					60	帝京大	15		15																								
					61	帝京平成大	10		10																								
					62	東海大	6		6																								
					63	東京有明医療大	1		1																								
					64	東京医療学院大	2		2																								
					65	東京医療保健大	7		7																								
					66	東京薬大	2		2																								
					67	東京家政大	9		9																								
					68	東京経大	6		6																								
					69	東京工科大	12	1	13																								
					70	東京慈恵会医大	1		1																								
					71	東京女子医大	1		1																								
					72	東京女子大	3		3																								
					73	東京電機大	34	1	35																								
					74	東京都市大	12		12																								
					75	東京農大	19	5	24																								
					76	東京福祉大	1		1																								
					77	東京未来大	3		3																								
					78	東京成徳大	1		1																								
					79	東邦大	17	1	18																								
					80	東洋学園大	4		4																								
					81	獨協大	20		20																								
					82	二松学舎大	3		3																								
					83	日本薬大	6		6																								
					84	日本工大	1		1																								
					85	日本獣医生命科学大	5	2	7																								
					86	日本女子大	13	2	15																								
					87	日本体育大	2		2																								
					88	日本保健医療大	1		1																								
					89	福山大	1		1																								
					90	文京学院大	1	2	3																								
					91	文教大	12	1	13																								
					92	北星学園大	1		1																								
					93	星薬大	4	1	5																								
					94	北海学園大	1		1																								
					95	明星大	1	1	2																								
					96	武蔵大	11		11																								
					97	武蔵野大	18		18																								
					98	武蔵野美大	2		2																								
					99	明海大	2		2																								
					100	明治学院大	17		17																								
					101	目白大	7		7																								
					102	ヤマザキ動物大	2		2																								
					103	横浜薬大	1		1																								
					104	立正大	9		9																								
					105	麗澤大	1		1																								
					106	和洋女子大	6		6																								
					私立大学合計			849	120	969																							
					●私立大学合格者数推移																												
					<table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>現役</th><th>既卒</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016年度</td><td>829</td><td>52</td><td>881</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>894</td><td>81</td><td>975</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>897</td><td>68</td><td>965</td></tr> <tr><td>2019年度</td><td>1029</td><td>94</td><td>1123</td></tr> <tr><td>2020年度</td><td>849</td><td>120</td><td>969</td></tr> </tbody> </table>						現役	既卒	合計	2016年度	829	52	881	2017年度	894	81	975	2018年度	897	68	965	2019年度	1029	94	1123	2020年度	849	120	969
	現役	既卒	合計																														
2016年度	829	52	881																														
2017年度	894	81	975																														
2018年度	897	68	965																														
2019年度	1029	94	1123																														
2020年度	849	120	969																														
					●国公立大学合格者数推移																												
					<table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>現役</th><th>既卒</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016年度</td><td>37</td><td>2</td><td>39</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>69</td><td>7</td><td>76</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>72</td><td>3</td><td>75</td></tr> <tr><td>2019年度</td><td>58</td><td>10</td><td>68</td></tr> <tr><td>2020年度</td><td>54</td><td>9</td><td>63</td></tr> </tbody> </table>						現役	既卒	合計	2016年度	37	2	39	2017年度	69	7	76	2018年度	72	3	75	2019年度	58	10	68	2020年度	54	9	63
	現役	既卒	合計																														
2016年度	37	2	39																														
2017年度	69	7	76																														
2018年度	72	3	75																														
2019年度	58	10	68																														
2020年度	54	9	63																														
					●早慶上智大学合格者数推移																												
					<table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>現役</th><th>既卒</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016年度</td><td>33</td><td>5</td><td>38</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>67</td><td>9</td><td>76</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>46</td><td>12</td><td>58</td></tr> <tr><td>2019年度</td><td>52</td><td>7</td><td>59</td></tr> <tr><td>2020年度</td><td>25</td><td>7</td><td>32</td></tr> </tbody> </table>						現役	既卒	合計	2016年度	33	5	38	2017年度	67	9	76	2018年度	46	12	58	2019年度	52	7	59	2020年度	25	7	32
	現役	既卒	合計																														
2016年度	33	5	38																														
2017年度	67	9	76																														
2018年度	46	12	58																														
2019年度	52	7	59																														
2020年度	25	7	32																														
					●MARCH+理科大学合格者数推移																												
					<table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>現役</th><th>既卒</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016年度</td><td>192</td><td>8</td><td>200</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>229</td><td>27</td><td>256</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>221</td><td>20</td><td>241</td></tr> <tr><td>2019年度</td><td>267</td><td>24</td><td>291</td></tr> <tr><td>2020年度</td><td>169</td><td>20</td><td>189</td></tr> </tbody> </table>						現役	既卒	合計	2016年度	192	8	200	2017年度	229	27	256	2018年度	221	20	241	2019年度	267	24	291	2020年度	169	20	189
	現役	既卒	合計																														
2016年度	192	8	200																														
2017年度	229	27	256																														
2018年度	221	20	241																														
2019年度	267	24	291																														
2020年度	169	20	189																														
●現役合格者数																																	
<table border="1"> <thead> <tr><th>番</th><th>現役合格</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>国公立大学</td><td>54</td></tr> <tr><td>2</td><td>私立大学</td><td>849</td></tr> <tr><td>3</td><td>短大</td><td>2</td></tr> <tr><td>4</td><td>専門学校等</td><td>5</td></tr> <tr><td>5</td><td>就職</td><td>2</td></tr> <tr><td colspan="2">現役合格者数合計</td><td>912</td></tr> </tbody> </table>					番	現役合格	合計	1	国公立大学	54	2	私立大学	849	3	短大	2	4	専門学校等	5	5	就職	2	現役合格者数合計		912								
番	現役合格	合計																															
1	国公立大学	54																															
2	私立大学	849																															
3	短大	2																															
4	専門学校等	5																															
5	就職	2																															
現役合格者数合計		912																															
●就職者数合計																																	
<table border="1"> <thead> <tr><th>番</th><th>就職</th><th>現役</th><th>既卒</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>大阪府警</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>警視庁</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td colspan="2">就職者数合計</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>					番	就職	現役	既卒	合計	1	大阪府警	1		1	2	警視庁	1		1	就職者数合計		2	0	2									
番	就職	現役	既卒	合計																													
1	大阪府警	1		1																													
2	警視庁	1		1																													
就職者数合計		2	0	2																													

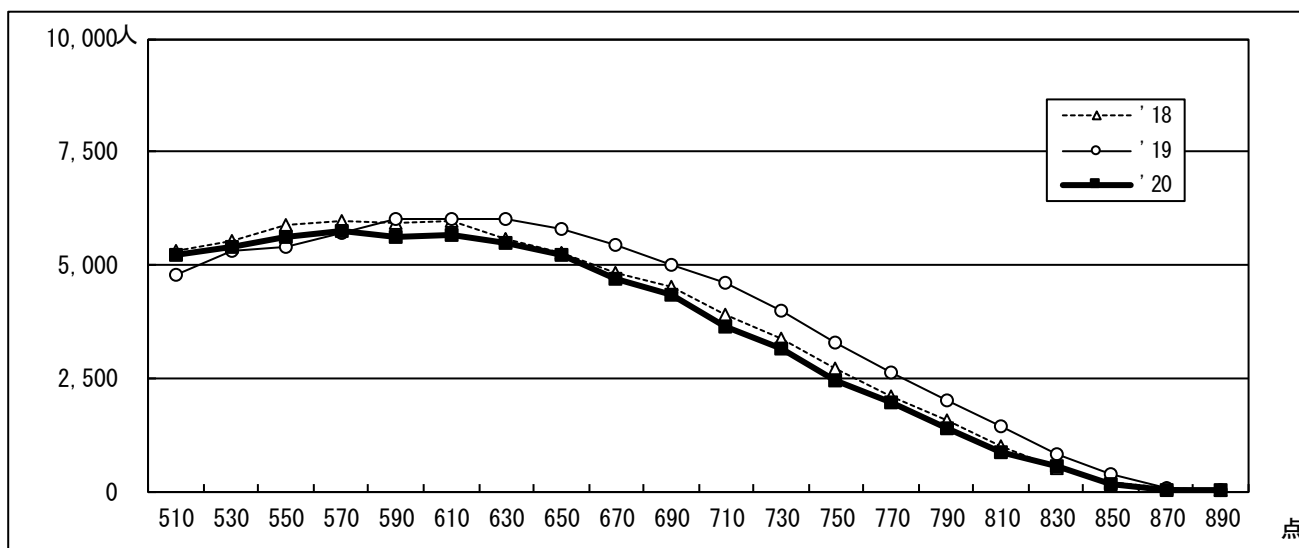
#### 4. センター試験の分析

表1 本校と全国のセンター試験平均点と8割以上得点できた生徒の割合

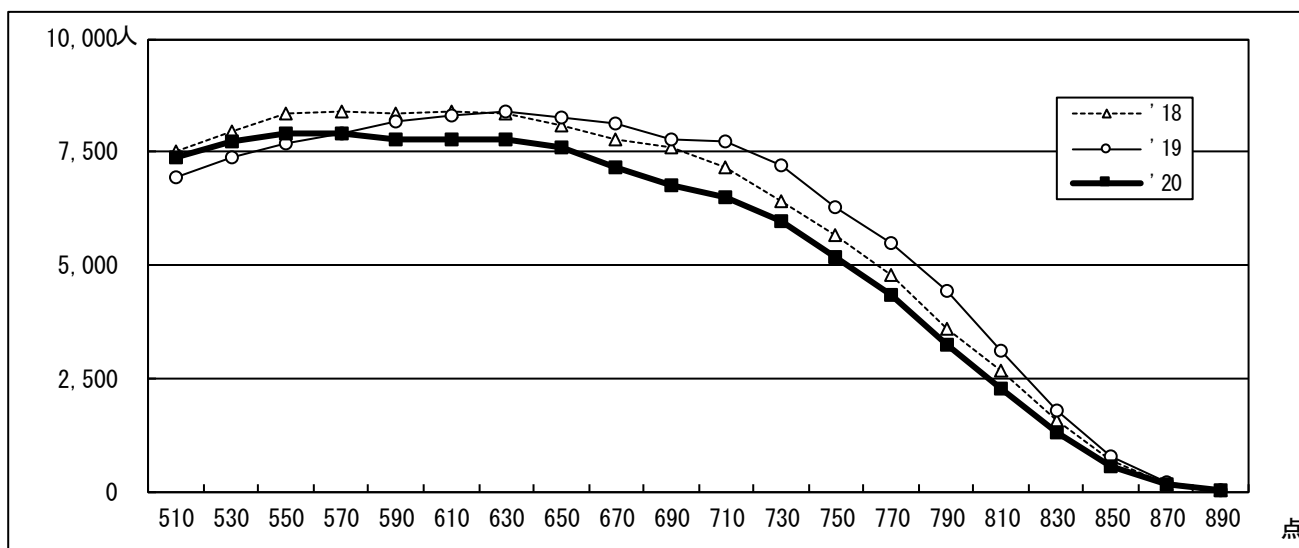
\*HP では割愛させていただきます。

グラフ 5教科8科目文系・5教科7科目の度数分布（全国）

##### 5-8文系（900点集計）

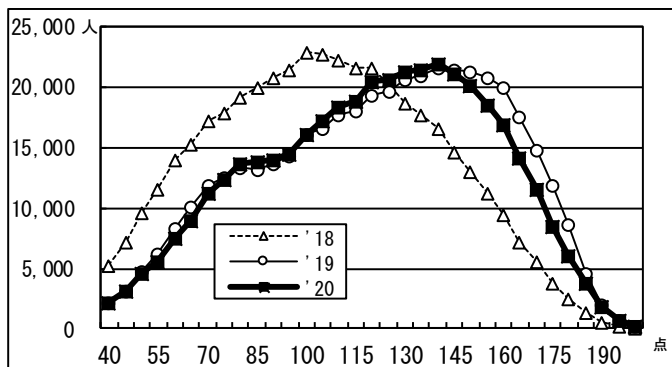


##### 5-7理系（900点集計）

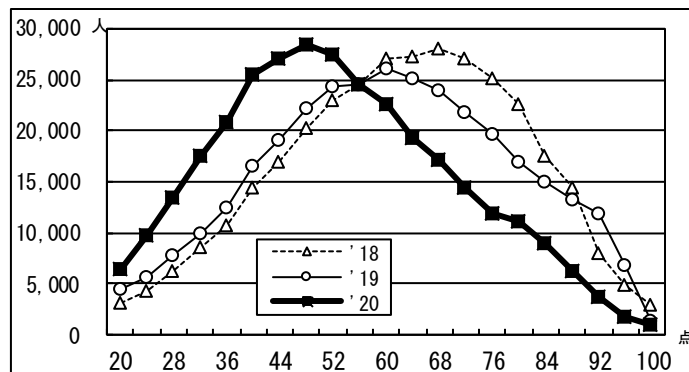


グラフ センター試験教科別の度数分布（全国）

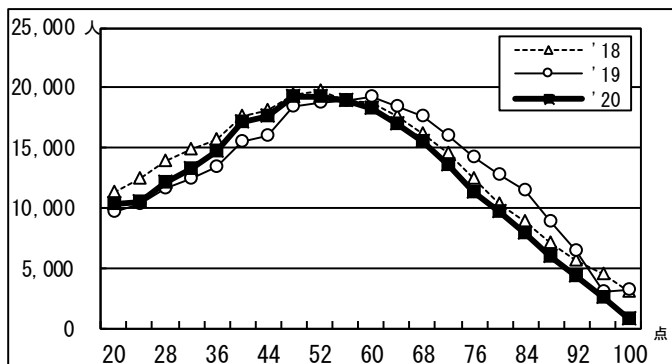
##### 国語



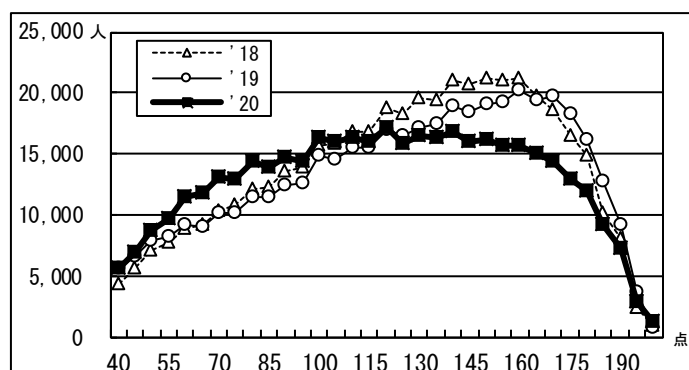
##### 数学Ⅰ・A



##### 数学Ⅱ・B



##### 英語筆記



表は本校の平均点、全国平均点、全国平均点前年との差、8割以上取った生徒の割合、30年度8割以上の生徒の割合である。科目によって地学や現代社会、地理、政治・経済では本校の受験者の母数が少ないため平均や8割以上の割合が極端に少ないものもあることに留意してほしい。グラフは全国の文系・理系および教科の中で国語・英語・数学の度数分布である。

まず全国の傾向を見ると5教科900点集計の平均点は文系が548点（得点率約61%）、理系が559点（得点率約62%）となった。前年比は、文系-22点、理系-17点であり、文系、理系ともに平均点ダウンとなった。**数学I・Aでは前年と比較して、人数のピークが60点前後の得点層から48点前後の得点層に移動し、56点未満の得点層で人数が増加している。**英語（筆記）では過去2年と比較して、125点以上の得点層で人数が減少している。小松川も「数学I・A」は一昨年度の平均69.7点が58.5点と11.2点も下げた。全国平均も7.8点下げたがそれ以上の下げ幅になってしまっている。この要因は出題傾向が大学入学共通テストを意識した問題になり、それに対応できなかった受験生が多かったことだといわれている。しかし、大事なことは例年と違う傾向の出題がされても使うべき公式が新たに追加されたわけではない。問題が何を問うているのかを正確に読み取り、自分の中の引き出しから適切な公式を使い解答できるかが問われている。つまり、基礎・基本が重要であることはこれまでと同じである。在校生は共通テストの参考問題等を実際に見て自分なりに分析を行うべきだ。英語の本校の平均点の下降は、上位層の減と下位層の増加が直接の要因である。数学同様、新テストで求められる新しい学力観を反映する出題に対応できなかったこと、論理的思考に基づく読解力が最後まで定着させられなかったことが原因と考える。最終的には速読力の完成を目指すことになるわけだが、安易にテクニックばかりを求めず、時間をかけて丁寧に英文に臨む姿勢を日々継続的に積み上げて欲しい。国語に関しても8割を超える生徒の減少が気になる。全国的にも減少傾向であるが国語科の先生の分析からは、やはり基礎基本の定着が図れていなかったとの指摘もある。他教科もそうであるが1・2年の積み上げがしっかりできているか、文章を正しく読む力がついているかを意識しながら日々を過ごしてほしい。

## ポイント

- ① 基礎・基本の定着を目指せ！
- ② 大学入学共通テストは正確に文章を読み取ることが求められている。
- ③ 数学：題が何を問うているのかを正確に読み取り、自分の中の引き出しから適切な公式を使い解答できるかが問われている。
- ④ 英語：安易にテクニックばかりを求めず、時間をかけて丁寧に英文に臨む姿勢を日々継続的に積み上げて欲しい